

現状・課題

本県は斜面地が多く可住地が限られる等の地形的特徴から、住まいにかかる費用負担が相対的に大きくなる傾向があります。

また、昨今の脱炭素社会の実現に向けた取組等も踏まえ、建設と除却を繰り返す従来型の住宅供給から、「良質な住宅を継承しながら長く活用する」環境に配慮したライフスタイルへの変革が求められています。

対応策

～地元企業と共に創り、育む、良質で長持ちする「長崎型住宅」の推進～

①② 県内企業や学術機関等と連携し、社会的課題の整理や対応策・性能と生産コスト等の比較検討を行い、長崎の地域性、経済性に対応した住宅を定義します。 **令和4年度：長崎型住宅仕様検討業務委託**

③ 長崎独自の住宅ブランドの創出を通して、新たな住宅の選択肢としての認知度を高めます。県の理念に賛同する県内事業者を募り、長崎型住宅の普及を促進します。 **令和5年度：長崎型住宅ブランド化業務委託**

④ **登録事業者の先導的取組・活動を広く周知し、普及を加速化します。** 県内各所で技術者向けの講習会を開催する等、更なる設計・施工技術等の向上を図ります。 **令和6年度：長崎型住宅普及啓発業務委託**

令和4年度

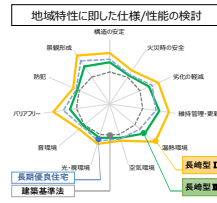
①課題抽出

- 社会的課題等を精査し、事業の方向性や推進方法を検討。
- 性能と価格・コスト等の比較検討等を産官学で共同実施。



②仕様検討

- 県民の住宅費負担に寄与する、長崎の住宅に特に必要な仕様等を決定（住宅の性能、メンテナンス、供給者）。



③ブランド化

- 「長崎型住宅」の公表
- 住宅の承継、良いものを長く使うライフスタイルの啓発。
- 各種広報媒体を用いた周知（県民、事業者向け）



令和6年度

④普及啓発

- 地域工務店等による長崎型住宅の供給を、産官学で推進。
- 県内各所において、長崎型住宅普及技術講習会を開催。



事業スキーム

県民の住宅費負担を減らし、

“住みたい・住める・住み続けられる長崎県”を実現

長崎型住宅の推進②（取組の全体像）



（現状）本県は斜面地が多く可住地が限られる等の地形的特徴から、住まいにかかる費用負担が相対的に大きくなる傾向がある。

また、県内企業による良質な住宅（長期優良住宅）の供給が進んでいない。

（対策）長崎の気候条件に配慮した、良質で長持ちする「長崎型住宅」の普及を促し、**県民の住宅費負担軽減を図る。**

事業目的

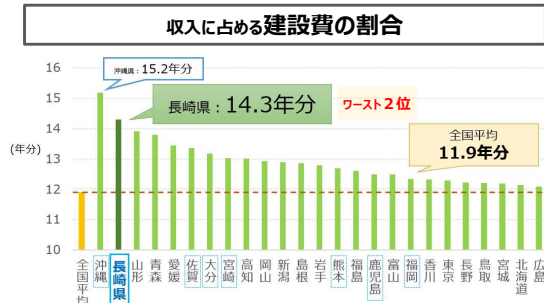
①「県民の住宅費負担の減」、②「稼げる県内企業」を実現し、人口減少を抑制する。

県実施事業

現状

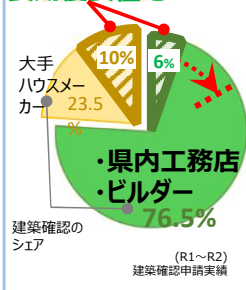
・住宅費負担が過大…全国ワースト2位

※建設費が年収何年分にあたるか

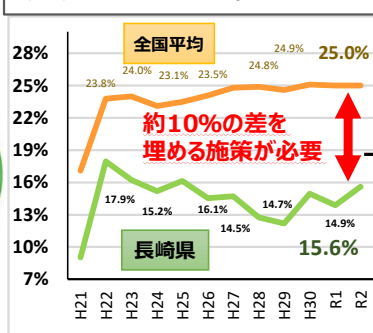


・県内企業による良質住宅の供給が進まない

長期優良住宅



新築住宅における長期優良住宅の認定率



課題

先進事例、地域工務店等へのヒアリングや既往調査、行政資料等により、下記課題を抽出。

主な課題

新築住宅 コストが高い
 ・コストがネックで、住宅性能を上げられない
 ・補助がないと、長期優良は採用しない

既存住宅 使い捨て
 ・メンテナンスされない
 ・社会的陳腐化等により、承継されない

住民 情報不足
 ・地域工務店を知らない
 ・住宅性能と価格に対するリテラシーの不足

工務店 PR不足、技術力の向上
 ・個人大工には営業力、情報収集に限界がある
 ・省エネ法改正等、手続きが煩雑

推進方法
 ・地域工務店の後押し
 ・地域特性に即した住宅の普及

地域工務店による良質な「長崎型住宅」の供給を促す。

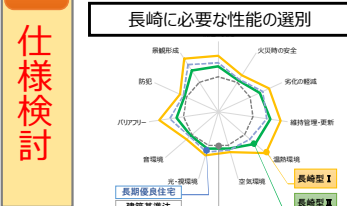
R3 現状把握・推進体制の確立



課題抽出

- ・社会的課題等を精査。
- ・基本的方向性、推進方法検討。
- ・性能と価格・コスト等の比較検討等を産官学で共同実施

R4 地域に即した仕様の研究・具体化



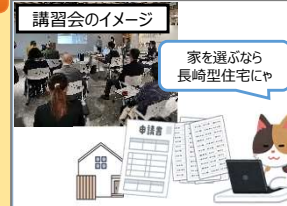
- ・気候風土を考慮し、長崎の住宅に特に必要な性能を定義。
- ①推奨品質のⅡ型
- ②コスパに優れたⅠ型

R5 長崎型住宅の公表、工務店グループの推奨



- ・「長崎型住宅」の公表(9月)
- ・事業者登録の開始(12月)
- ・住宅の承継、良いものを長く使うライフスタイルの啓発。
- ・各種広報媒体を用いた周知。(県民、事業者向け)

R6 長崎型住宅の普及・制度活用促進



- ・登録事業者等による長崎型住宅の供給を、産官学で推進。
- ・県内各所において、長崎型住宅普及技術講習会を開催。

取組の進め方

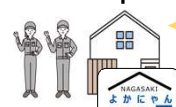
産・官・学で連携し、地場企業主体のプロジェクト推進体制を目標とする。

令和4年 ・長崎独自の住宅仕様の**研究**、必要な性能の**定義**

令和5年 **9月**「長崎型住宅」の公表 **12月**「事業者登録」の開始
 (3団体との連携協定、115社)

令和6年 ・普及啓発、制度活用の周知

長崎型住宅
長もちの家



長崎型住宅の推進①（令和5年度の広報・周知）



- 長崎型住宅 … 長崎の気候風土を踏まえ、県民の負担軽減に寄与する3つのルールを満たした住宅。
- 普及啓発 … 賛同企業を県が周知。個別住宅の認定により差別化

長持ちのルール等を産学官で議論

住宅費負担軽減に寄与する「長崎型住宅」とは

① 長持ち性能

- ☑ 長期優良住宅以上の性能水準を満たす



これからの長崎の住まいに求められる基本性能を確保(2030年基準対応)

メリット① お得&負担減

年間**最大30万円**の住宅費負担軽減を実現します。

② 維持管理

- ☑ 住宅履歴情報の永年保管義務付け
- ☑ 定期点検の確実な実施



適切な定期点検と履歴情報の保管の徹底

メリット② 価値の持続

100年先も住み続けられる住宅を目標としています。

③ 登録事業者による供給

(登録事業者の条件)

- ☑ 長期優良住宅の取扱がある
- ☑ 廃業時、住宅履歴の継承先がある



一定の技能・技術を有した県内の工務店や設計事務所が供給

メリット③ 安心のアフターフォロー

万が一の廃業時も、住宅履歴情報が承継されます。

検討委員

大学	長崎総合科学大学
大学	長崎大学
金融	住宅金融支援機構
業界	長崎県建築士事務所協会
広報	株式会社ながさきPRESS
事業者団体(組織)	五島 五島ゼロカーボンを目指す会
	佐世保 肥前快適家づくりの会
	佐世保 あったかい家づくらんば隊
	時津 優良住宅ネットワーク長崎
	大村 長崎ビルダーズネットワーク
	大村 西九州優良木造住宅を創る会
諫早 九州優良住宅推進会	
諫早 長崎すて木な家づくりの会	
諫早 九州周遊のよか仲間達	
行政	長崎県土木部

令和5年度 広報

ブランド化戦略の具体化

- **ブランド化戦略**
 - ・アンケート分析結果等をふまえ、ブランド化戦略を具体化
- **県民アンケートの実施**
 - ・目的…周知開始以降の、当制度の認知度把握等

業務委託(プロポーザル)による、「長崎型住宅」の普及・啓発

広報媒体

- **ロゴ、パンフレット**
- **特設webサイトの構築**
 - 地元工務店を紹介
- **SNSによるデジタル広告**
 - SNS等の開設・運用・配信

説明会・展示会

- **事業者・県民向け展示会等**



- ・12月、出島メッセで開催
- ・県催事(住宅フェア)と連携

追加広報



追加実施提案	連続特集、ニュース	テレビ
	テレビCM	テレビ
	ラジオ	ラジオ
	雑誌(月刊誌)での広告	雑誌
	県民向け専門誌での広告	専門誌

長崎型住宅の推進②（令和6年度の予定）



●事業成果目標：【R5】県民認知度**25%** → 【R6】県民認知度**33%**

長もち住宅の更なる普及を

**産学官連携
で加速！**

令和6年度の取組

①分析/戦略策定

- ・県民アンケート(認知度把握)
- ・普及啓発戦略の策定



②広報(登録事業者の活動周知)

- ・県民向けパンフレット作成
- ・登録事業者の活動紹介
- ・デジタル広告 (web,SNS)



③技術者育成

- ・技術者向け講習会
- ・産学官連携の促進(協議会)



広報等の連携実施

地場企業の足らざる取組を、役割分担して協働実施



令和6年度の工程（想定）

広報企画提案に基づく、「長崎型住宅」の更なる普及推進

令和6年度

4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3

・令和6年度の供給開始を目前に、
①認知度向上
②賛同事業者の募集
を実施する。

(業務委託)

分析・戦略

広報

技術者育成



事業成果目標

負担減

【住宅取得者】負担の軽減

- ・ライフサイクルコストでお得な住まい
- ・補助金、減税措置の活用

【事業者】与信、営業手段の会得

(企業の社会貢献)

- ・業者登録による信頼付与、CSR促進
- ・地場産業の利益率向上に寄与